

# TOKAS-Emerging 2021

文化でつながる。未来とつながる。

TokyoTokyo  
FESTIVAL

## 35歳以下の若手アーティストによる展覧会！

東京都と公益財団法人東京都歴史文化財団では、Tokyo Tokyo Festivalの一環として「TOKAS-Emerging 2021」を実施します。

「TOKAS-Emerging」はトーキョーアーツアンドスペース（TOKAS）が、2001年の開館以来、若手アーティストの活動支援として、日本在住の35歳以下のアーティストを対象に、個展開催の機会を提供する公募プログラムです。昨年度の「TOKAS-Emerging 2020」は、新型コロナウイルス感染症の拡大に係る緊急事態宣言発令のため、第1期は臨時休館のまま中止となり、第2期は会期を変更しての実施となりました。

「TOKAS-Emerging 2021」では、前回展示公開がかなわなかった3組の作家を加えた6組を選出しました。平面、立体、映像、インスタレーションなど、多様なジャンルにまたがる新進気鋭のアーティストたちによる個展を、2021年4月から6月まで2会期にわたり開催します。

## ■ 展覧会概要

展覧会名：TOKAS-Emerging 2021

会期 | 出展作家：第1期 2021年4月3日（土）～ 5月5日（水・祝）

水上愛美、宮川知宙、都賀めぐみ

第2期 2021年5月15日（土）～ 6月13日（日）

久木田 茜、GengoRaw（石橋友也+新倉健人）、辻 梨絵子

会場：トーキョーアーツアンドスペース本郷（東京都文京区本郷2-4-16）

開館時間：11:00-19:00（最終入場は30分前まで）

休館日：月曜日（5月3日は開館）

入場料：無料

主催：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館トーキョーアーツアンドスペース

ウェブサイト：[www.tokyoartsandspace.jp/](http://www.tokyoartsandspace.jp/)

※新型コロナウイルスの感染状況によって、実施内容が変更となる場合があります。

※関連イベントの詳細は、TOKASウェブサイトにて発表します。

<お問い合わせ>

〒135-0022 東京都江東区三好 4-1-1 東京都現代美術館内

トーキョーアーツアンドスペース（公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館）広報担当：市川、武智

TEL: 03-5245-1142 FAX: 03-5245-1154 E-mail: [press@tokyoartsandspace.jp](mailto:press@tokyoartsandspace.jp)

■ 参加作家／広報用画像 ※この他にも広報用画像をご用意しております。詳しくは広報担当までお問い合わせください。

第1期 2021年4月3日(土)～5月5日(水・祝)

水上愛美 | MIZUKAMI Emi

「Dear Sentiment」

さまざまな媒体から選んだ複数のモチーフを組み合わせ、作家独自の「翻訳」を施し、画面を塗り潰したり、別のイメージを被せたりすることで不可視の部分をつくり、隠されたイメージの強化を図る水上。接触や運動が抑制された新たな日常の中で「身体」や「感情」の在り方を問い、改めて意識される他人と自己に焦点を当てる。

◆プロフィール◆

1992年東京都生まれ。東京都を拠点に活動。2017年多摩美術大学美術学部絵画学科油画専攻卒業。主な展覧会に「4649 at Pina」(Pina、ウィーン、2020)、「TOKAS-Emerging 2020『paintings of stranger』」(TOKAS本郷)、「Feelings for a spider」(4649、東京、2019)など。主な受賞歴に「ターナーアクリルガッシュビエンナーレ2018」優秀賞など。

助成：公益財団法人小笠原敏晶記念財団



公益財団法人  
小笠原敏晶記念財団



1. 《Inside》2020  
パネルにチャコール、アクリル、サンドペースト

宮川知宙 | MIYAKAWA Tomohiro

「遠くを見ること/そこへ行くこと」

宮川は、新型コロナウイルス感染症拡大を機に、意図的に会場での作品鑑賞をやめた。この実験的な行為は、美術鑑賞が「観客が不在でも成立するか」、「記録することが前提とされた際の現場の価値とは」といった、宮川が以前から持っていた関心や疑問から生じている。本展では、この実践に関連した写真や映像を用いたインスタレーションを展開する。

◆プロフィール◆

1993年千葉県生まれ。神奈川県を拠点に活動。2019年多摩美術大学大学院美術研究科博士前期課程彫刻専攻修了。主な展覧会に「TOKAS-Emerging 2020『スーパーゴーストカミカゼアタック!!』」(TOKAS本郷)、「引込線/放射線」(第19北斗ビル、埼玉、2019)など。



2. 《国際展にて》2020 デジタル写真

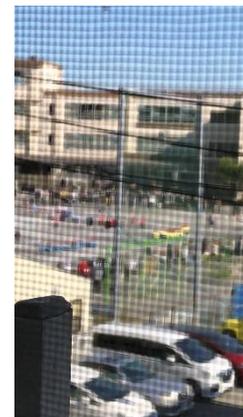
都賀めぐみ | TSUGA Megumi

「大きな蛇の樹の下で」

何気なく撮影した自宅の窓からの景色の映像、年々下がる視力をコンタクトレンズで補う際の自身の感覚などを記した文章をはじめ、さまざまな視覚体験を記録し、それらを再構成する試みをとおして、身体における「見る」という行為と作用について考察する。

◆プロフィール◆

1992年広島県生まれ。東京都を拠点に活動。2018年多摩美術大学大学院美術研究科修了。主な展覧会に「『CSLAB × MELLOW - ジェンダーに関する観察と実践』成果展」(高架下スタジオ Site-A ギャラリー、横浜、2019)、「female artists meeting のための展覧会 (どのような秘密や緊張、葛藤が生まれるだろう!)」(Art Center Ongoing、東京、2019) (うらあやか+津賀恵として)など。



3. 《運動会 feat. 網戸のハエ》2020 映像

第2期 2021年5月15日(土)～6月13日(日)

久木田 茜 | KUKITA Akane

「シンメトリーのみずみ」

陶芸や金工などの手工芸を軸に制作する久木田は、合理的な形に、手作業によって形成される不合理な歪みを内包させる。この相反する行為とその結果から、人工と生命の間の表現を目指している。一貫して「シンメトリー」という存在を問いかけながら、装飾や植物の断片のイメージから幾何学的なイメージの制作を続ける。本展では、陶や真鍮を用いた立体作品を展示する。

◆プロフィール◆

1987年愛知県生まれ。埼玉県を拠点に活動。東京藝術大学大学院美術研究科博士後期課程先端芸術表現専攻在籍。主な展覧会に「トロールの森2020」(善福寺公園、東京)、「アーツさいたま・きたまちフェスタ Vol.4・ASK祭」(2018)、「小須戸ARTプロジェクト2017」(新潟)など。主な受賞歴に「第5回公募 新鋭作家展」入選(2015)など。



4. 《文を編む》2020 陶、真鍮

GengoRaw (石橋友也+新倉健人)

GengoRaw (Tomoya Ishibashi + Kento Niikura)

「コトバノキカイ」

生命や言語をモチーフに表現活動を行うアーティストの石橋友也と、自然言語処理エンジニアである新倉健人が協働する「機械の視点を通じて、言葉の論理とイマジネーションに関する実験/制作を行う」アートプロジェクト。本展では、「TOKAS-Emerging 2020」に引き続き、近年飛躍的に発展している機械学習技術に着想を得た作品やAIの画像認識技術を使用した新作などを発表する。

◆プロフィール◆

石橋友也(1990年生まれ)と新倉健人(1989年生まれ)により2018年結成。東京都を拠点に活動。主な展覧会に「BECV」(オンライン展示、2020)、「ENCOUNTERS」(Ginza Sony Park、東京、2019)。主な受賞歴に「Asia Digital Art Award Fukuoka」インタラクティブアート部門入選(2020)、「WIRED CREATIVE HACK AWARD 2019」グランプリ、「文化庁メディア芸術クリエイター育成支援制度」採択(2018)など。



5. 《Journey into Word2vec》2020 VR

辻 梨絵子 | TSUJI Rieko

「ルリジサの茶」

古来より食すと鋭気を保つことができると言われ、お茶にして人々に好まれてきたハーブ、ルリジサ。辻は、青い星型の花を咲かせるこの植物を栽培し、さまざまな手法で作品に展開する。手作りのハーブティーを国内外の知人と飲みながら交わした対話から、他者の過去の出来事を紐解いてゆくドキュメンタリー映像作品や、花の色素を用いたドローイングなどでインスタレーションを構成する。

◆プロフィール◆

1991年東京都生まれ。東京都を拠点に活動。2019年東京藝術大学大学院美術研究科グローバルアートプラクティス専攻修了。主な展覧会に「End of Summer Open Studio」(Yale Union、ポートランド、アメリカ、2019)、「I hope you are happy.」(prezlauer studio / kunst-kollektiv、ベルリン、2018)、「Fictionality」(SYP Gallery、東京、2017)など。主な受賞歴に「CAF賞2018」入選。



6. 《ルリジサの茶》2021 映像

「TOKAS-Emerging 2021」  
広報用画像申込書

Fax 番号: **03-5245-1154**

Email: **press@tokyoartsandspace.jp**

トーキョーアーツアンドスペース広報担当宛

(ご希望の広報用画像番号にチェックを入れてください)

1 2 3 4 5 6

掲載媒体名(特集・コーナー名)

種別 TV ラジオ 新聞 フリーペーパー ネット媒体 その他( )

掲載/放送予定日 月 日 発売/放送( 月号)

貴社名

ご担当者名

Tel

Fax

E-mail(画像はメールでお送りしますので必ずご記入ください)

画像到着希望日 月 日 時頃までに送付

※ご記入いただいた個人情報は、お問い合わせ及びご希望に対応させていただく目的のみ利用させていただきます。

※お急ぎの場合はメールもしくは、お電話でお問い合わせください。

【注意事項】

※画像データは申請時の目的以外での使用はできません。ご掲載や放送以外の目的での写真のご利用はご遠慮ください。また、申請時とは別の媒体での使用、再販等の場合は改めて申請してください。

※画像データは、メールにてお送りします。お手元に届くまで1~2日(土日祝休み)ほど頂戴いたしますのでご了承ください。

※作品画像は全図でご使用いただき、トリミング、文字載せはお控えください。必ず所定のキャプション等を併記してください。

※提供した画像データは、使用后速やかに破棄してください。画像が無断で第三者に利用されることのないよう、Web サイトへのご掲載は、画像にコピーガードや転載不可の明記をしてください。

※情報確認のため、事前に記事原稿をお送りください。

※取材の内容が収録された番組等はビデオ・DVD を一部、印刷物(掲載誌・雑誌)については現物を1部もしくはコピーの場合は3部ご送付ください。Web サイトの場合は、掲載時に URL をお知らせください。

<お問い合わせ> ※校正ゲラ及び掲載誌紙・DVD 等は下記宛にお送りください。

〒135-0022 東京都江東区三好4-1-1 東京都現代美術館内

トーキョーアーツアンドスペース(公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館)

広報担当: 市川、武智

TEL: 03-5245-1142 / FAX: 03-5245-1154 / E-mail: press@tokyoartsandspace.jp